

屋上菜園と大都市創造のためのビジネスデザイン

8月30日に学文社より「クリエイティブビジネス論」(副題：大都市創造のためのビジネスデザイン 3,500円)という本が出版された。一般社団法人地域デザイン学会が監修している。その第10章クリエイティブビジネスとしての「都市型農業ビジネス」の中で、JVECの2つの屋上菜園(ルミネ北千住店の屋上菜園・三井住友海上火災保険の屋上菜園)が取り上げられている。執筆者は、明治大学商学部教授の菊池一夫氏。昨年、菊池教授と何度か打ち合わせを持ち、実際に2か所の屋上菜園を視察して頂いた。

この本の編者の原田保氏は、この本の出版目的について以下の3点を強調されている。

- ①今後のグローバル競争に対応するためには、モノ視点つまりコンテンツ視点からの価値表現ではなく、コンテキスト視点からの価値発現が求められており、コンテキストのデザインこそ重要である。
- ②地域創生の主な対象は地方ではなく大都市である。大都市圏の地域価値の増大に向けた地域デザインの展開に注力すべきである。
- ③大都市の価値創造の担い手は、アーバントライブ(都市部族)と呼ばれるクリエイティブクラスであり、これらの人材の確保が急務である。



この本は、アメリカの社会学者リチャード・フロリダの「クリエイティブ資本論・新たな経済階級(クリエイティブ・クラス)の台頭」から大きな啓発を受けているように思われる。アーバントライブは都市型コミュニティの中で、共通の文化や価値観を共有する人々で科学者、技術者、芸術家、音楽家、デザイナー、知識産業の職業人など「意義ある新しい形態を作り出す」仕事に従事している人々を指している。

JVECは、農的価値の多面的開発と、都市と地方の交流を事業目的にしている。学文社の「クリエイティブビジネス論」、また、リチャード・フロリダの「クリエイティブ資本論」を参考にしながら、JVECの事業活動が日本社会で今後ますます求められていくように、社会学的根拠もしっかりと築いていきたい。

代表理事 阿部 義通

9月の活動報告

◇北千住ルミネ屋上菜園ガーデン◇ 秋冬野菜の種まき、苗の定植

北千住ルミネの屋上菜園は秋・冬野菜に移行しています。9月20日は今まで沢山の实をつけてくれたナスを全部撤去して、整地後(耕耘した後、油粕・貝化石灰を入れる)、畝を2本つくりイチゴの孫株を一部定植しました。13日に種を播いたダイコン、聖護院ダイコンも順調に発芽して、生長しています。9月27日にはエダマメの跡地に白菜とブロッコリーの苗を定植しました。現在サツマイモが菜園の2つの区画で葉を繁らせています。2回ほど試し掘りをしました。順調にサツマイモが大きくなっています。11月15日にはJキッズ保育園



右/サツマイモ
左/ダイコン 発芽の様子

の園児と保護者の皆さんと毎年秋の恒例、サツマイモ掘りを行う予定です。サツマイモの後は、スーパーフードのもち麦、毎年栽培しているスナップエンドウ、ミックスレタスを栽培する計画です。また今年は木製プランターで、食べられる花「紅花」も栽培してみたいと考えています。ルミネ北千住店の屋上は9月から11月迄、一般開放されます。多くの買い物客の方たちが屋上に来られます。「秋冬でもこんなにいろいろな野菜が育つんだ」という様子を是非見て頂きたいと栽培作業に励んでいます。

9月の活動報告つき ◇三井住友海上火災(株)屋上菜園◇ ネズミ対策継続



ナスの食害

9月27日、三井住友海上火災保険株式会社の屋上菜園の担当者と打ち合わせを持ちました。以下は今後の進め方です。今回は、たまたま三井さんの屋上菜園でネズミの問題が発生しましたが、都市部ではネズミの問題は避けるのが難しいというのが実情です。ある意味では良い機会ですので、JVECとして屋上菜園ネズミ対策の方法を作り上げていきたいと思います。

以下は、9月27日三井さんと打ち合わせた対策案です。

《ねずみ被害対策について》

- ・9月27日から殺鼠剤入り罠をしかける
(メーリングリストで注意喚起済)
- ・代表的な罠にモニタリングカメラを設置し、状況を確認する

- ・超音波を発する機械
(1台 3,000円程度)を試行的に1台設置する
- ・上記状況を確認(2週間程度)して、まだねずみの被害があるようならば、第2陣として超音波の機械数台を設置する
- ・第2陣でも被害が続くようであれば、第3陣として防獣機の設置を検討する(要相談)
- ・食害はネズミだけでなく、ヨトウムシの可能性もあるため状況を注意深く観察する。
- ・レモンバームなどネズミの嫌がるにおいを発するハーブを外側に植えることも検討する(根が強いのでその場合はポット対応)

◇エゴマ部会◇

「フード・アクション・ニッポン アワード 2017」応募



エゴマ油

島根県川本町のエゴマ農家の柴原さんが応募しました。2016年度に入選した100産品を見ますと、オリーブ油3点がアワードを受けていますので、柴原さんにはエゴマ油で応募することをお勧めしました。

アワードに入選すると商品の価値が更に上がります。柴原さんのエゴマ油は完全有機栽培で、加工段階での酸化防止にも努めている最高級品質のエゴマ油です。入選されるように祈っています。

JVEC 関連ニュース

1. 年次社員総会の報告

9月29日(金)午後6時~7時で年次総会を開催しました。第二期の決算報告、活動報告、第三期の活動計画、予算案、運営体制案が全員賛成で承認されました。第三期の活動計画の展開についてはJVECのホームページにもアップしますので、会員の皆さんも是非ご覧ください。

3. 都心のデパートに屋上果樹園カフェを提案

現在、東京銀座のデパート屋上向けに、汚れた空気をも浄化するモリンガを含む、通常八百屋さんでは買えないスーパーフード菜園を加えた果樹園カフェを提案しています。屋上という植物にとっては過酷な自然環境でも、ブドウとモリンガは耐え抜けることが分かりましたので、上記のような提案をしました。東京のほか、大阪、名古屋のデパートも屋上菜園に興味を示しています。

4. ハゴロモビル 屋上菜園ガーデン

菜園用の資材を追加し、これから秋・冬野菜の栽培に入っていきます。木製プランターを2セット追加しました。

2. 屋上菜園(老人ホーム)受注決定

墨田区の老人ホームの屋上菜園栽培指導が、JVECに決まりました。屋上全体のデザイン・施工は、東邦レオさんが行います。安全対策について調整後、正式契約の運びになると思われます。

4. 一般社団法人游心と「子育て」で連携

一般社団法人游心の峯岸理事長より要請があり、同法人の「東京子育て応援事業」に協力することにしました。この事業には、承認されれば、東京都福祉保健財団から助成金がおります。JVECが協力する範囲は2つあります。

- ・「子育て支援・教育」のための屋上菜園の確保
- ・子供でも初めての人でもわかる野菜づくりのハンドブック制作

10月の予定

□10月7日(土) 三井住友海上火災保険様の屋上菜園の利用者によるサツマイモ掘り

□屋上菜園栽培マニュアル講習会の開催※日時は追ってご案内
JVECが独自に作成した屋上菜園栽培マニュアルについて講習会実施します。
屋上での野菜、果樹の有機栽培のやり方を都市市民用に作成したものです。ご関心にある方は是非ご参加ください。